

# 株主の皆様へ

第109期 決算のご報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日





## To Our Shareholders

■ 株主の皆様へ



代表取締役社長  
**山本明広**

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年4月1日付で、代表取締役社長に就任いたしました山本明広でございます。社業のさらなる発展に尽くしてまいり所存ですので、倍旧のご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

さてここに、第109期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに今後の取り組みについてご報告させていただきます。

### ○ 当期の経済情勢

当期における世界経済は、好調な米国経済に牽引され緩やかに回復してまいりましたが、米政権の動向や欧州の社会情勢の不透明さに加え、中東や東アジアにおいては地政学的リスクの高まりが懸念されるなど、不安定な状態が続きました。

一方、わが国経済においては、世界経済の緩やかな回復を受けて輸出が伸長するとともに、設備投資や消費の持ち直しにより国内需要も堅調で、多くの企業で業績改善が見られました。

### ○ 当社グループの業績概況

当期における当社グループの業績といたしましては、機能性材料の好調な受注に支えられ、増収となりましたが、前期竣工した新工場の費用負担の増加と下期以降顕著となった原材料コストの上昇によって、軽包装材料及び産業資材の両セグメントにおいて収益性が低下し、減益となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高327億53百万円（前期比3.3%増）、営業利益11億99百万円（前期比14.0%減）、経常利益11億34百万円（前期比22.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益8億87百万円（前期比10.6%減）となりました。

### ○ 今後の取り組みについて

軽包装材料セグメントにつきましては、プラスチックフィルムからなる包材でありながら、強酸、強アルカリ、芳香成分等に耐性のある耐内容物包材や、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の開口部にチャックを設け、一般家庭の調理に使用できるよう改良した新タイプの「レンジD o !」など、市場ニーズに対応した特長ある製品の開発を積極的に行い、価格競争を避けつつ収益確保に努めます。

また、エア緩衝材「エアロテクト」やイージーカットフィルム「ポロン」などの製品の特長を活かした用途開発を進め、新たなニーズを創出することで当セグメントの売上拡大を果たしてまいります。

産業資材セグメントにつきましては、新設した掛川工場WESTのクリーンな環境を活かして医療分野における製品の開発、拡販を推進するとともに、生産を拡大して製造コスト低減を図ります。さらに、付加価値の高い新タイプの電材用工程紙と炭素繊維プリプレグ用工程紙の生産及び販売を軌道に乗せ、収益改善を果たします。

また、当セグメントの生産体制を最適な姿に再構築し、高品質、低コスト、短納期を追求いたします。それによって顧客満足の向上を図るとともに、当業界のシェア拡大を

推進し、強固な事業基盤の早期形成に努めてまいります。

機能性材料セグメントにつきましては、国内ユーザー向けには顧客密着型の開発態勢を維持しながら高付加価値製品を供給してまいります。今後、急速な普及が予想される有機ELについても、ニーズに応じた表面保護フィルムの開発を推進し、フラットパネルディスプレイの表面保護における先端技術の維持、研鑽に努めます。

海外に向けては、中国の合弁会社・長鼎電子材料（蘇州）有限公司に対する技術指導を強化し、多様なニーズへの対応力の向上と製造コスト低減を図るとともに、中国及び周辺国への販路開拓を進めます。国内工場で生産される高付加価値製品についても輸出を拡大し、グローバルな事業展開を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

### 決算ハイライト

- 売上高  
**327億53**百万円（前期比 **3.3%**増）
- 営業利益  
**11億99**百万円（前期比 **14.0%**減）
- 経常利益  
**11億34**百万円（前期比 **22.3%**減）
- 親会社株主に帰属する当期純利益  
**8億87**百万円（前期比 **10.6%**減）



## Segment Review

■ セグメント別のご報告

### 軽包装材料

40.0%



#### ■ 事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、電子部品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

### 産業資材

22.2%



#### ■ 事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

### 機能性材料

35.7%



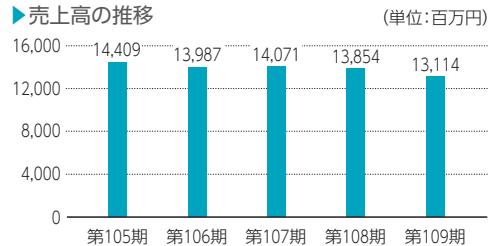
#### ■ 事業内容

粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

## 当期の概況

- ・ **食品用包材**については、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」が堅調。清涼飲料用パウチも年明け以降受注が増加し増収。
- ・ **医薬品・医療用包材**については、高防湿P T Pシート用フィルム「テクニフィルム」が伸ばしたが、他の医療用包材が主要顧客の減産の影響を受け、僅かに減収。
- ・ **洗剤・トイレタリー用包材**については、詰替え用パウチの形状の多様化や化粧品用包材のユーザー間の競争によって受注機会が減少し減収。
- ・ **精密機器その他の包材**については、エア緩衝材「エアロテクト」の主力ユーザーによる生産計画見直しに加え、他の製品でも受注が振るわず減収。

▶ 売上高の推移



## 当期の概況

- ・ **テープ基材関連製品**については、宅配便貨物の取扱数量増加により梱包用テープの需要拡大が見込まれるところ、輸入テープの増加によって国内メーカーの梱包用テープ生産量は伸び悩み。その影響により当社の受注も振るわず減収。
- ・ **剥離紙**については、自動車関連分野が前期並みの水準にとどまる一方、医療用品関連の受注は増加。I T関連市場の拡大を背景に、F P C (フレキシブルプリント基板)の製造工程で使用される電材用工程紙も、海外からの受注が活発化し、剥離紙は増収。

▶ 売上高の推移



## 当期の概況

- ・ **粘着塗工タイプ「サニテクト」**については、スマートフォン関連をはじめ全般的に光学用途の受注が好調で増収。
- ・ **2層押出しタイプ「P A C」**については、既存ユーザーからの受注が伸び悩むも、新規案件の受注もあり、売上は前期並みを確保。
- ・ **精密塗工タイプ「S A T」**については、中国の合併会社である長鼎電子材料(蘇州)有限公司の生産が立ち上がり、液晶テレビ向け広幅仕様の注文に対応可能となったことで受注が増加。スマートフォン関連の受注も堅調で大幅増収。

▶ 売上高の推移





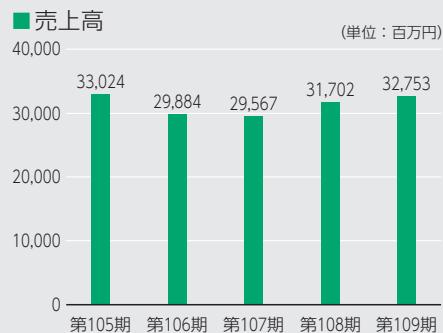
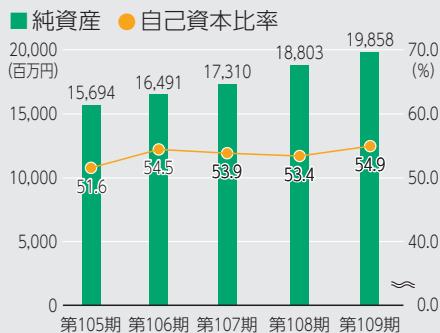
# Financial Statements

## ■ 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 平成29年3月31日現在	当期末 平成30年3月31日現在	科目	前期末 平成29年3月31日現在	当期末 平成30年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	19,800	20,736	流動負債	12,465	12,724
現金・預金	4,387	5,619	仕入債務	6,738	6,875
売上債権	11,738	11,575	短期借入金	3,226	3,226
たな卸資産	3,179	3,231	その他	2,499	2,623
その他	495	309	固定負債	3,662	3,286
固定資産	15,130	15,133	長期借入金	1,909	1,305
有形固定資産	8,688	8,486	その他	1,752	1,981
無形固定資産	12	43	<b>負債合計</b>	<b>16,127</b>	<b>16,011</b>
投資その他の資産	6,428	6,603	<b>純資産の部</b>		
<b>資産合計</b>	<b>34,930</b>	<b>35,870</b>	株主資本	16,841	17,531
			資本金	2,176	2,176
			資本剰余金	2,136	2,136
			利益剰余金	12,645	13,334
			自己株式	△116	△116
			その他	1,961	2,326
			<b>純資産合計</b>	<b>18,803</b>	<b>19,858</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>34,930</b>	<b>35,870</b>



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	31,702	32,753
売上原価	26,998	28,455
売上総利益	4,703	4,298
販売費及び一般管理費	3,309	3,098
営業利益	1,394	1,199
営業外収益	201	262
営業外費用	134	328
経常利益	1,460	1,134
特別利益	—	205
特別損失	8	—
税金等調整前当期純利益	1,451	1,339
法人税、住民税及び事業税	458	423
法人税等調整額	△7	32
非支配株主に帰属する当期純利益	8	△3
親会社株主に帰属する当期純利益	992	887

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	744	2,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,626	△786
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,661	△646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,223	1,230
現金及び現金同等物の期首残高	5,481	4,257
現金及び現金同等物の期末残高	4,257	5,488

### ■ 営業利益

(単位：百万円)



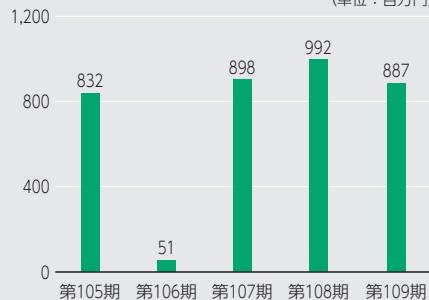
### ■ 経常利益

(単位：百万円)



### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

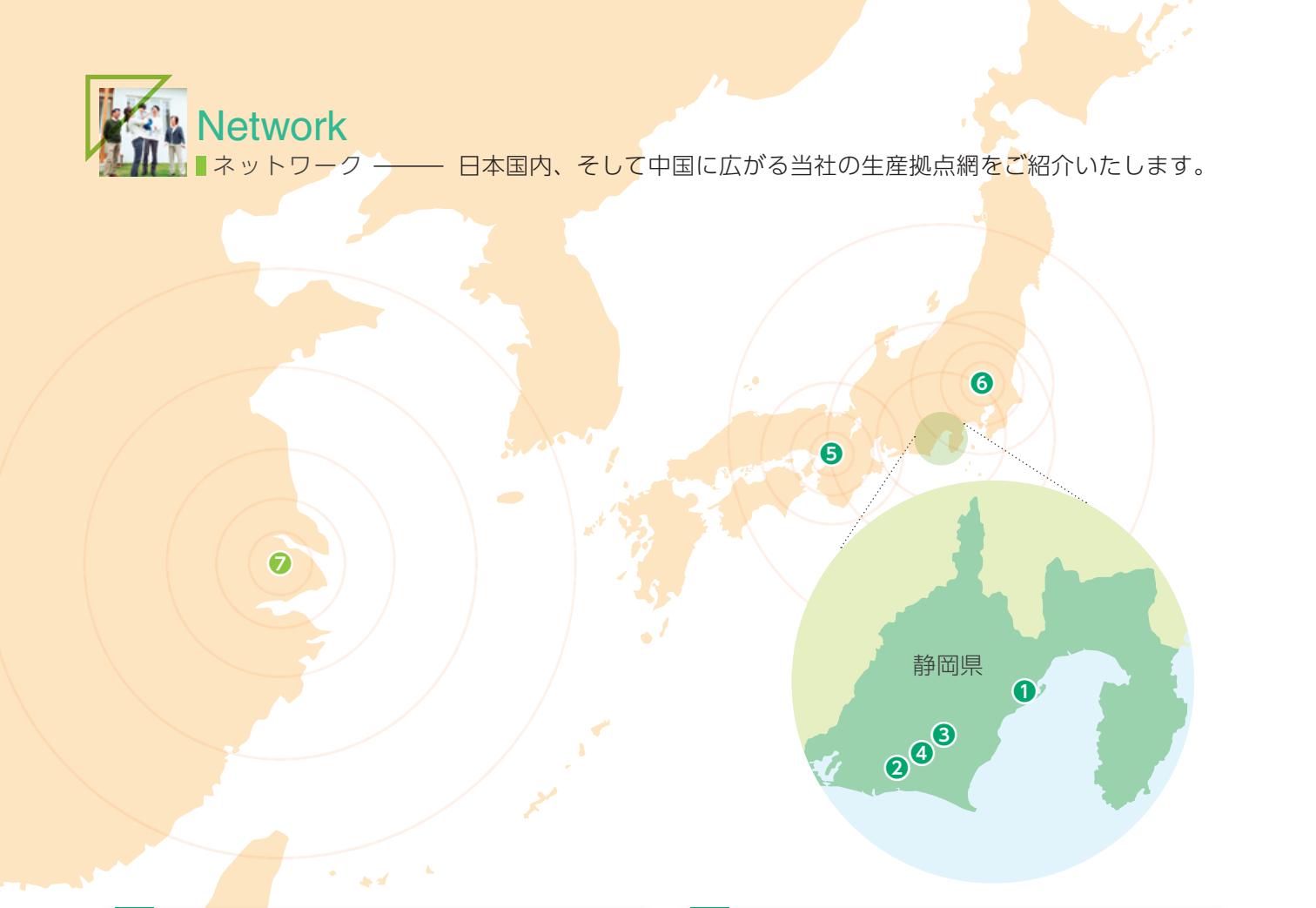
(単位：百万円)





# Network

■ ネットワーク ——— 日本国内、そして中国に広がる当社の生産拠点網をご紹介します。



## 1 静岡工場



安心・安全な  
製品づくりに取り組む  
軽包装材料に  
特化した主力工場

 静岡市清水区  
吉川515番地

 昭和26年（1951年）

 軽

## 2 袋井工場



恵まれた地の利を  
最大限に活かし、  
機能性フィルムと  
産業資材を生産

 静岡県袋井市  
山科3030番地

 昭和45年（1970年）

 産  機

軽 軽包装 産 産業資材 機 機能性材料

### 3 掛川工場



最新鋭の設備と  
若い人材を有した  
機能性材料の  
生産拠点

 静岡県掛川市  
満水1000番5号

 平成17年（2005年）

  機

### 4 掛川工場WEST



平成28年6月に  
竣工した  
産業資材部門の  
中核となる新工場

 静岡県掛川市  
満水1000番6号

 平成28年（2016年）

  産

### 5 奈良工場



全セグメントを  
バランスよく生産し、  
関西圏で  
地力を発揮

 奈良県天理市  
三味田町15番

 昭和38年（1963年）

  軽  産  機

### 6 東邦樹脂工業



軽包装及び  
産業資材用フィルムの  
生産を行う関連会社

 栃木県下都賀郡  
野木町野木148番地

 昭和35年（1960年）

  軽  産

### 7 長鼎電子材料(蘇州) 有限公司



中国及び周辺諸国を  
ターゲットにした  
現地生産拠点

 中国江蘇省蘇州市  
高新区嵩山路111号

 平成25年（2013年）

  機

## TOPICS

筆記具の製造販売事業へ参入するため、  
新会社「株式会社ペンリード」を設立

平成30年1月22日に筆記具及びその関連部品の製造並びに販売を事業内容とする株式会社ペンリードを設立いたしましたのでご報告いたします。



# Information

■ インフォメーション

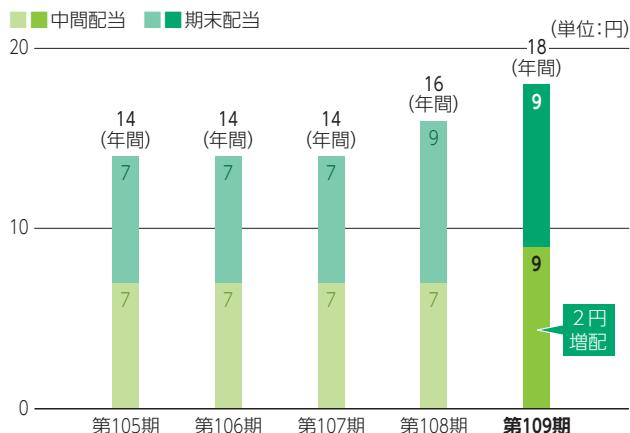
## 配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

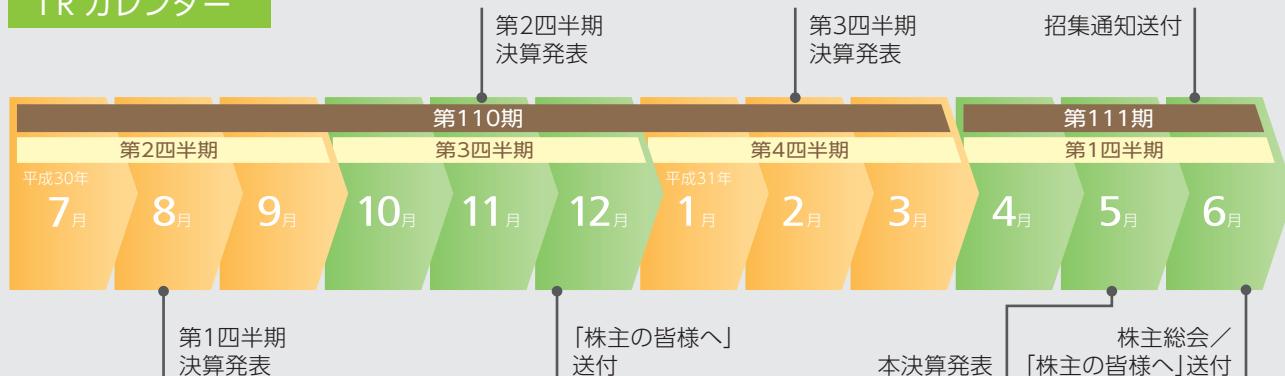
この方針の下、第109期（平成30年3月期）の期末配当金につきましては、連結経営成績及び財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり9円とすることいたしました。

これにより、第109期の年間配当金は、中間配当金9円と合わせて、1株当たり18円となりました。

## 1株当たり配当金



## IR カレンダー





# Stock Information & Corporate Data

■株式の状況・会社概要 (平成30年3月31日現在)

## 株式の状況

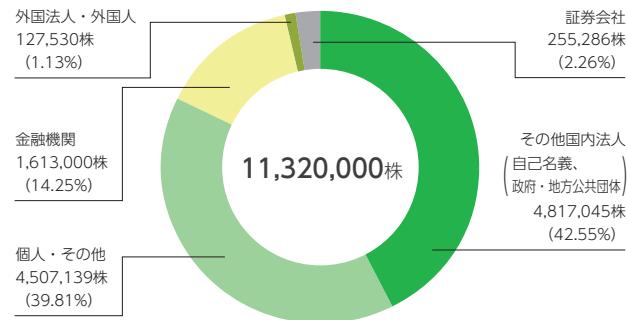
- 発行可能株式総数 ..... 45,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 11,320,000株
- 株主数 ..... 2,835名

## 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和パックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	363,900	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口 昭和パックス株式会社口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和パックス株式会社口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
山田 美千代	121,500	1.10
鈴木 靖子	117,000	1.06

- 1.当社は自己株式を345,345株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
- 2.持株比率は自己株式(345,345株)を控除しております。
- 3.株式会社三菱東京UFJ銀行は平成30年4月1日付で、株式会社三菱UFJ銀行に商号を変更しております。

## 所有者別株式分布状況



## 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、静岡営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	昭和17年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	549名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

## 連結子会社

東邦樹脂工業株式会社  
本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148

株式会社ペンリード  
東京都中央区日本橋本町1-7-4

灿櫻(上海)商貿有限公司  
中国上海市長寧区虹橋路

## 役員 (平成30年6月27日現在)

代表取締役会長	藤岡 宣隆	取締役	山本 元
代表取締役社長	山本 明広	社外取締役	藤澤 廣一
常務取締役	櫻田 武志	常勤監査役	鈴木 直樹
取締役	大橋 宏行	監査役	宮本 貞彦
取締役	芝 彦尚	監査役	飯崎 充

(注) 監査役 鈴木直樹、宮本貞彦及び飯崎充の各氏は、社外監査役です。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sun-a-kaken.co.jp">http://www.sun-a-kaken.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

### [株式事務に関するお問い合わせ]

- (1) 住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。  
証券会社に口座がないため特別口座に登録されている株主様は、上記の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- (2) 払渡期間経過後のお取り扱い  
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

## ホームページのご案内

当社の詳細なIR情報は、  
ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈投資家情報〉では、  
詳細なIR情報を掲載しております。

また新製品情報をはじめ、業務内容や最新  
の企業情報、展示会情報等についてもご  
覧いただけます。



<http://www.sun-a-kaken.co.jp>

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄給(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールにより  
URL自動返信

kabu@wj.m.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも  
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、  
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4  
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

